

コーポレート・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり)2017-01 (愛称:メジャー・カンパニーズ17-01)

設定来の運用状況について

2017年1月18日

平素は、「コーポレート・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり)2017-01(愛称:メジャー・カンパニーズ17-01)」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。当ファンドの設定来の運用状況について、お知らせいたします。

《基準価額・純資産の推移》

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

2017年1月16日現在

基準価額	9,994 円
純資産総額	10億円

期間別騰落率	
期間	ファンド
1カ月間	----
3カ月間	----
6カ月間	----
1年間	----
3年間	----
5年間	----
年初来	----
設定来	-0.1%



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。

※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応当日までとし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。

※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

《主要な資産の状況》

※比率は、純資産総額に対するものです。

資産別構成		
資産	銘柄数	比率
外国債券	21	93.6%
コール・ローン、その他※		6.4%
合計	21	100.0%

※外貨キャッシュ、経過利息等を含みます。

*当ファンドが投資対象とするハイブリッド証券(劣後債、優先証券)は、外国債券として表示しています。

通貨別構成		
通貨	合計100.0%	
		比率
日本円		100.1%
英ポンド		-0.0%
ユーロ		-0.1%

※保有する外貨建て資産の比率から、為替予約取引の比率を差し引いた実質的な比率を表示しています。外貨建て資産の値動きによってはマイナスとなる場合があります。

格付別構成		
格付別	合計100.0%	
		比率
AAA		---
AA		---
A		0.3%
BBB		99.7%
BB		---
B以下		---

※格付別構成の比率は、ポートフォリオに対するものです。

※格付別構成については、R&I、JCR、Moody's、S&P、Fitchの格付けのうち最も高いものを採用し、算出しています。

ポートフォリオ特性値	
直接利回り(%)	4.2
最終利回り(%)*	2.7
修正デュレーション(年)*	2.8

*次回コール日を基に算出しています。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00~17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

《主要な資産の状況》

組入上位10銘柄				合計78.9%
銘柄名	通貨	利率(%)	次回コール日	比率
Electricite de France SA	ユーロ	4.25	2020/01/29	8.2%
DONG Energy A/S	ユーロ	3	2020/11/06	8.1%
Bayer AG	ユーロ	3	2020/07/01	8.0%
SSE PLC	英ポンド	3.875	2020/09/10	7.9%
NGG Finance PLC	ユーロ	4.25	2020/06/18	7.9%
Enel SpA	英ポンド	7.75	2020/09/10	7.8%
Orange SA	ユーロ	4.25	2020/02/07	7.8%
Suez Environnement Co	ユーロ	3	2020/06/23	7.8%
AMERICA MOVIL SA de CV	英ポンド	6.375	2020/09/06	7.7%
Vonovia Finance BV	ユーロ	4.625	2019/04/08	7.6%

※比率は、純資産総額に対するものです。

《ファンドマネージャーのコメント》

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

■市場環境

当ファンド設定前の債券市場では、米国のトランプ次期大統領による政策への期待から、主要国では米国国債に連れる形で金利の上昇圧力が高まりました。しかし、ユーロ圏ではECB(欧州中央銀行)が資産購入による量的金融緩和の期限延長や対象範囲の拡大などを決定したほか、あらためて金融緩和策を継続する姿勢が示されました。また、英国ではBOE(イングランド銀行)が英ポンド高を背景にインフレ上振れの可能性が低下したとの見解を示したこともあり、2016年12月以降は主要国で金利の上昇基調に一服感がうかがわれます。

こうした環境下、コーポレート・ハイブリッド証券については、発行体の信用力に目立った悪化は見られず、低金利下で相対的に高い利回りを求める投資需要も反映し、スプレッド(国債との利回り格差)が安定しています。国債と同様に、金利上昇局面では債券価格が弱含みましたが、足元では利回りの上昇圧力が和らいでおり、当ファンド設定後も底堅く推移しています。

■運用状況

当ファンド設定後は、速やかに世界の企業が発行するハイブリッド証券の組み入れを行い、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。債券ポートフォリオの構築に際しては、デフォルト(債務不履行)や利払い繰り延べなどのリスクに留意しつつ、当ファンドの信託期間内にコール(繰上償還)等が見込まれる銘柄を選別しました。また、業種別では、業績の安定性や債券の流動性などを勘案し、コーポレート・ハイブリッド証券の主な発行業種である公益を中心とした構成としました。

■今後の見通し

ユーロ圏や英国では景気拡大が続いていますが、英国がEU(欧州連合)離脱に向かう中、条件交渉が進展するまでの先行き不透明な状況下では、折に触れて欧州経済に対する下振れ観測が強まりそうです。また、トランプ氏の掲げる政策の通り米国が保護主義を強めれば、グローバルな企業活動への悪影響も懸念されるなど、当面の債券市場はボラティリティ(価格変動性)の高まりやすい環境が続くと考えています。

ただし、ECBによる追加緩和策の選択肢は狭まりつつあるものの、域内のインフレ圧力は依然として弱く、日本とともに金融緩和の長期化を要する状況にあると捉えています。英国では追加緩和の余地を残すほか、米国の金融引き締めペースは緩やかなものとみられ、世界的な金融緩和環境の継続が期待されます。また、コーポレート・ハイブリッド証券の主な発行体は、財務信用力が景気変動の影響を受けにくい公益企業や通信企業であることも勘案すると、コーポレート・ハイブリッド証券の投資環境は大きく悪化しないものとみています。歴史的な低金利環境下で、相対的に高い利回りを求める投資需要も依然として強く、コーポレート・ハイブリッド証券市場を支援すると考えています。

今後の運用に際しては、現状の組入債券の継続保有を基本として利回りの実現を重視し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指す方針です。

以上

ご購入の申し込みはできません。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- 世界のハイブリッド証券等に投資し、高利回りの獲得を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

ファンドの特色

1. 世界の企業（金融機関を除きます。）が発行するハイブリッド証券等に投資します。
 - ◆ ハイブリッド証券とは、債券と株式の性質を併せ持つ（ハイブリッド）証券であり、劣後債および優先証券があります。
 - ◆ 一般に国債や普通社債と比較して、信用リスクやハイブリッド証券固有のリスクにより、利回りが高いという特徴があります。
※ハイブリッド証券固有のリスクには、法的弁済順位が劣後するリスク、繰上償還延期リスク、利払繰延リスクなどがあります。
2. 証券の格付けは、取得時において投資適格[※]の格付けを有するものとします。
 - ①ムーディーズで Baa3 以上または S&P もしくはフィッチで BBB- 以上
 - ②市場環境等によっては、取得時において投資適格の格付けを有する発行体が発行する銘柄に投資することがあります。
※上記①②は、投資対象とするマザーファンドにおける証券取得時の水準です。
 - ◆ 信託期間内に満期償還される銘柄および繰上償還や買入消却等が見込まれる銘柄に投資します。
 - ◆ 各国のマクロ環境の調査、個別発行体の財務分析、個別銘柄の繰上償還の実現性や利払いの確実性などのファンダメンタルズ分析等を行なうとともに、相対的な割安度合い等を勘案し、ポートフォリオを構築します。
 - ◆ ハイブリッド証券への投資が困難と判断する場合などには、普通社債または先進国の国債に投資することがあります。
3. 為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。
 - ※為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。
 - ※為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が組入資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。
4. 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。
 - マザーファンドは、「ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド《2020-12》」です。※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「ハイブリッド証券の価格変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「ハイブリッド証券固有のリスク（劣後リスク（法的弁済順位が劣後するリスク）・繰上償還延期リスク・利払繰延リスク）」、「特定の業種への集中投資リスク」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※ハイブリッド証券に関する規制や基準の変更等がハイブリッド証券市場に大きな影響を及ぼす可能性があります。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

コーポレート・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり)2017-01(愛称:メジャー・カンパニーズ17-01)

ご購入の申し込みはできません。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	ご購入の申し込みはできません。	—
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.1178% (税抜 1.035%)	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎計算期末、途中換金および信託終了のときに信託財産中から支弁します。
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用:

大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

コーポレート・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）2017-01（愛称：メジャー・カンパニーズ17-01） 取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
株式会社八十二銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第49号	○	○		
株式会社武蔵野銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第38号	○			

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。